

令和5年度 第3回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和5年10月26日(木) 午後2時00分から午後3時30分

場 所 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者 三浦健会長、向井智之委員、渡辺浩隆委員、藤澤陽子委員、篠田紫織委員、竹之内純一委員、吉田鈴美委員、渡邊輝江委員、古市佳子委員、山本幸子委員、山寄幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、瀧口博史委員、會澤奈穂子委員、森井真理委員、今井崇徳委員(鎌ヶ谷市社会福祉課長)、館岡文委員(鎌ヶ谷市健康増進課)

欠席者 菊地謙副会長、勝又和久委員

事務局【障がい福祉課】星野里香課長、高橋奈帆子庶務係長、稲葉もも主任主事
【鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳
【相談支援事業所なしねっと】丹野隆昭課長
【株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所】藤平颯太

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・鎌ヶ谷市第7期障がい福祉計画及び鎌ヶ谷市第3期障がい児福祉計画の概要(資料1)
- ・鎌ヶ谷市第7期障がい福祉計画及び鎌ヶ谷市第3期障がい児福祉計画(案)(資料2)
- ・令和5年度テーマ別チーム会議検討状況(追加資料1)
- ・提言書(追加資料2)
- ・鎌ヶ谷市障害福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～開催要項(追加資料3)

<本日の傍聴人及び会議の出欠状況について>

事務局より、出席者数(18名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。また、配布資料を確認した。

「第7期鎌ケ谷市障がい福祉計画及び第3期鎌ケ谷市障がい児福祉計画」(案)について

事務局より資料1・資料2を基に、説明を行った。

- ・計画の概要
- ・鎌ケ谷市第7期障がい福祉計画及び鎌ケ谷市第3期障がい児福祉計画(案)

会長

ただ今の説明について、意見や質問があればお願いします。

委員

16ページにある「基本目標1」の「施策1-2」の記載はどの部分になるか。

事務局

5番目の星印の「疾病の早期発見・早期治療につながるよう相談対応するとともに、妊婦・乳幼児健康診査や健康相談等を実施し健康に関する不安や悩みの軽減を図る」の部分である。

委員

ならば「施策1-1」から「施策1-3」の順を入れ替えたほうが良いと思う。

事務局

修正する。

委員

15ページ、アンケート調査の関係団体ヒアリング調査概要では92事業所を調査対象にしているが、回収結果は21事業所と半分に満たない。何か理由があるのか。

事務局

回答が届いていない事業所に対して追加の催促は行わず、返送された数を示している。回収数が少なかった理由は分析していない。

委員

アンケートで最も調査が欲しい事業所について半分に満たないため、回収率を上げる策があれば考えを聞きたい。

ジャパン総研

事業所に対するアンケートは、今後回答への協力依頼を工夫し、実施する必要がある。回答21事業所で回収率は2割になるが、その中から意見を取りまとめることをご了承いただきたい。

会長

次回に向けて、アンケートの周知方法、締切近くでの再周知などの方法を検討しながら、回答する事業所を増やしていかなければいけないと思うが、それによろしいだろうか。

事務局

3年後もあるため、その際の課題としたい。

事務局（基幹相談支援センターえがお）

基幹相談支援センターとして質問する。26ページ「5 障がい児支援の提供体制の整備等」で、現場は医療的ケア児のコーディネーターの配置はされていないという認識を持っているが、ここでは実績があるとなっている。誰が行っているのか、教えていただきたい。

事務局

医療的ケア児のコーディネーターの研修を受け資格を持つ人がいることを指して、「配置」と記載している。どこで捉えるかについては検証したい。

事務局（基幹相談支援センターえがお）

研修を受けた人も自身が正式に配置されていると認識していないと思う。その点のすり合わせが必要である。

事務局

承知した。

委員

22ページ「福祉施設の入所者の地域生活への移行」について、精神病院の患者の退院は含まれないのか。精神障がい者の地域移行に対する考えを聞きたい。

事務局

地域移行とは、福祉施設入所者のみならず入院患者も含めて地域生活へ移行するための支援であると認識している。入院患者の精神障がい者も含めて地域移行を推進する考えである。

会長

福祉施設入所者の地域移行について、退所しても、次々に入所してきているのが実情である。最近では退所後、次に入ってくる人は「8050問題」に関係した人である。高齢化社会に伴い障がい者も高齢化しており、障がい児、障がい者に高齢障がい者を加えた3本立てで考えていかないと、施設入所者の地域移行は進まないと感じている。また、最重度の障がい者も契約終了せずに生活できるグループホームがあれば、私たちが運営するような入所施設は必要なくなると感じている。3本立ての考えを進めてはどうか。

事務局

会長のご指摘のとおり、施設入所者の重度化、高齢化などが見られるが、受け入れる態勢が整っていないことが課題であることを十分認識しつつ、施策を進めていきたい。

「テーマ別チームの検討状況について案」について

事務局より追加資料 1 を基に、令和5年10月13日(金)に開催した地域連携部会の報告があった。また、地域連携部会において2つのテーマ別チームから提案があったため、事務局から説明を行った。

(1) 地域資源を調査・研究しより良い方策を提言するチーム (追加資料2)

特別支援学校へのスクールバス運行についてのアンケート調査について、追加資料2の別添資料のとおり学校に送付すること。

(2) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム (追加資料3)

令和6年1月23日(火)に鎌ヶ谷市障害福祉サービス事業所等合同説明会～福福フェア～を開催すること。

会長

ただ今の説明に質問等があればお願いします。

委員 (質問なし)

会長

それでは採決に入る。地域連携部会から提案があった1点目のスクールバス運行のアンケート内容について、承認の可否を採決する。提案を承認する委員は挙手をお願いします。

(挙手多数)

会長

挙手多数で承認とする。

2点目の障害福祉サービス事業所等合同説明会の開催について、承認の可否を採決する。提案を承認する委員は挙手をお願いします。

(挙手多数)

会長

挙手多数で承認とする。

本日の議題全体について質問はないか。

委員

「福福フェア」は来年1月23日開催予定だが、他の催しと併せて開くのか、単独で行うのか。

事務局

単独の開催を考えている。

委員

いろいろなところに働き掛け、多くが参加するように宣伝をお願いします。

事務局

承知した。

次回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の開催について

事務局より、11月20日（月）午後2時から、市役所地下1階団体研修室で開催することを報告した。

会長

本日の議題全体について質問はないか。

特になし

会長 以上で協議会を終了する。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年11月20日

氏 名 會澤 奈穂子

氏 名 森井 真理